

滋賀県倫理法人会 広報誌

びわ湖

Vol.29

富士研で学んだこと

今年も
開催!!

朝礼バトル

多くのゲストを動員することにより、普及拡大につなげ、
既存会員さんにも多く参加して頂くことで、活力朝礼の普及に努めましょう!
各単会でも周知徹底と、朝礼バトル出場企業様の発掘にご協力をお願いします。

朝礼バトル
湖南地区5/14 日 15:00~18:00
栗東芸術会館 さくら 小ホール朝礼バトル
湖北地区5/20 水 15:00~18:00
彦根文化ぷらざ メッセホール朝礼バトル
本戦6/10 水 15:00~18:00
栗東芸術会館 さくら 中ホール

京都新聞夕刊一面でビイサイドプランニングさんの朝礼が紹介されました。
また、朝礼バトル主催者として滋賀県倫理法人会能登会長のコメントも紹介されました!

ホームページも
ご活用ください!

公式ホームページ <http://shiga-rinri.com/>
公式ブログ <http://shigarinri.shiga-saku.net/>
facebookページ <https://www.facebook.com/shigarinri>
YouTubeチャンネル <https://www.youtube.com/user/shigarinri>
または検索で

公式ホームページでは滋賀県倫理法人会の概要や役員一覧、今月のモーニングセミナーの案内、広報誌・今週の倫理バックナンバー、動画による会員の声などの情報が掲載されています。ブログやフェイスブックページへのリンクもあります。トップページの一番下右側には「役員名刺」の発注フォームへのリンクボタンも用意されています。是非ご活用ください。



発行/社団法人 倫理研究所 滋賀県倫理法人会広報委員会
〒525-0001 滋賀県草津市下物町64-13
TEL.077-532-1404 FAX.077-532-4869
E-mail info@shiga-rinri.com

経営者倫理セミナー

通称／富士研セミナー

今年度も倫理研究所富士教育センター富士高原研修所で経営者倫理セミナーが開催されました。

11月から4月にかけて、滋賀県倫理法人会からは総勢41名が参加予定。

初めて富士研セミナーに参加された会員の声をご紹介します！

富士研セミナー参加者

①11/14～16	4名
②1/29～31	10名
③2/3～5	2名
④2/8～10	15名
⑤3/20～22	9名
⑥4/17～19	1名



びわこ湖北倫理法人会

平川メディカル有限会社 平川 聖子

参加日／平成27年1月29日～1月31日

今回富士研に参加させていただき、私の人生が大きく変わるであろう2つのことに気づかせていただきました。まさに、私の人生の転機であったと感じます。

自分自身でも気づくことができなかった2つのこととは、①母への想いを改め直すこと②自分は子供が欲しいんだ、ということです。私の母は、私が幼い時「うつ病」でした。自殺未遂もあり一命を取り留めたこともあります。入院を繰り返し、自宅に帰ってきてても薬を服用しなければ生活できませんでした。家にいるときは、ずっと震えて寝てばかりいました。そんな母を見て、幼いながらも自分の母は精神的におかしいとわかっていました。弟や、妹に自分のような不慣れな思いをさせたくなくて、私が必死に母親代わりをしていました。そんな母に対する気持ちは、言葉で言い表すことのできない悲しくもあり、怒り、嫌悪感、心配が混じったような複雑な想いを持っていました。母は、私が高校生ぐらいに症状が落ち着き、明るく楽しい家庭に変わりました。しかし、幼少期に刻み込まれた記憶が、母に対する気持ちに何かのストッパーがかかり、今も複雑な気持ちがぬぐいきれませんでした。しかも、その気持ちを持っているのにうすうす気づきながら、できるだけ見えないふりをしていたように思います。今回、清水調師のお話の中に自分とリンクするところが多々あり、気づかされました。自分が悪かったんだと。母に抱いていた感情で、母に辛く当たること、母親としてちゃんと見ていなかったこと、山ほど謝らなければいけないことがあふれ出し、涙が止めどなくこぼれました。「お母さん、ごめんなさい……」感謝と謝罪の念が一気に胸につきあげ、崩れ落ちそうになりました。まずは、自分の母に対する想いを改め、母と真正面から向き合い、帰宅したら感謝と謝罪の気持ちを伝えよう、そう思いました。富士研から帰宅し、お互い正座して「お母さん今までありがとうございます。そして、今まで私の不徳の致すところで申し訳ございませんでした。」と頭を下げました。そうすると、胸が熱くなり涙が止まらなくなり頭をしばらく上げられませんでした。母は、それを見てと何も言わずに涙々とお辞儀をしました。富士研に行かなければ、自分の気持ちに気付かないフリをし、母に悪い気持ちを持ったままであったのではないかと思います。行かせていただいて、本当に良かったです。丁度明後日から、親孝行と台湾旅行を予定しています。申し合わせたかのようなこのタイミング(笑)本当に不思議です。存分にお母さんと楽しんでこようと思います。

もう1つは、自分は子供が欲しいということがわかりました。鷹義で、人格の機軸があり格柄にはいらせていただきました。私は、入籍するまで、ずっと父や母へ言い残したことや、仕事のことを想うのかなと思っていました。ところが、なんと自分でもビックリなのですが、自分のまだ見ぬ子供や孫の事しか出てこなかったのです。しかも、かなり鮮明に自分の姿と、子供たちが見えて、ほかの事を考えようとしても浮かばないんです。これも、本当に不思議な体験でした。私は、結婚願望も子供を持つことも、正直あまり気持ちがありませんでした。しかし、そんな私がお棺に入った瞬間、子孫のことしか出てきませんでした。このことは、自分でも驚きお棺から出たあと、少し放心状態でした。自分は子供が欲しい！子孫を残したい！私の中のDNAなのか、先祖からの記憶や働きがそうさせたのかはわかりませんが、そう思ったのは確かです。今は、今年中に結婚して子供が欲しい！そんな気持ちに変わっています。この2つが、今回人生の転機になるであろうことでした。どちらも、今回の富士研がなければきっと気づくことができなかった「気づき」だと感じています。まさに要物必与（必要な物は丁度いい時にいい形で与えられる。）今回の鷹義で教えていただいた通りであると感じます。今のタイミングで必要なお知らせだっただと思います。また、その他に全国で共に倫理を学ぶ友と、貴重な経験ができました。チームは一人のスター選手だけではまともらず、一人一人のチームワーク、心を一つに合わせる事の大切さを、再確認することが出来ました。今回の体験を通して、倫理の学びを深めたいと思いますし、倫理に共有し共に成長していきたいと思いました。富士研のスタッフの皆さん、80名の倫理、家族、会社を守ってくれていたスタッフ、全てに感謝です。本当にありがとうございました。

もう1つは、自分は子供が欲しいということがわかりました。鷹義で、人格の機軸があり格柄にはいらせていただきました。私は、入籍するまで、ずっと父や母へ言い残したことや、仕事のことを想うのかなと思っていました。ところが、なんと自分でもビックリなのですが、自分のまだ見ぬ子供や孫の事しか出てこなかったのです。しかも、かなり鮮明に自分の姿と、子供たちが見えて、ほかの事を考えようとしても浮かばないんです。これも、本当に不思議な体験でした。私は、結婚願望も子供を持つことも、正直あまり気持ちがありませんでした。しかし、そんな私がお棺に入った瞬間、子孫のことしか出てきませんでした。このことは、自分でも驚きお棺から出たあと、少し放心状態でした。自分は子供が欲しい！子孫を残したい！私の中のDNAなのか、先祖からの記憶や働きがそうさせたのかはわかりませんが、そう思ったのは確かです。今は、今年中に結婚して子供が欲しい！そんな気持ちに変わっています。この2つが、今回人生の転機になるであろうことでした。どちらも、今回の富士研がなければきっと気づくことができなかった「気づき」だと感じています。まさに要物必与（必要な物は丁度いい時にいい形で与えられる。）今回の鷹義で教えていただいた通りであると感じます。今のタイミングで必要なお知らせだっただと思います。また、その他に全国で共に倫理を学ぶ友と、貴重な経験ができました。チームは一人のスター選手だけではまともらず、一人一人のチームワーク、心を一つに合わせる事の大切さを、再確認することが出来ました。今回の体験を通して、倫理の学びを深めたいと思いますし、倫理に共有し共に成長していきたいと思いました。富士研のスタッフの皆さん、80名の倫理、家族、会社を守ってくれていたスタッフ、全てに感謝です。本当にありがとうございました。



「富士研」参加のお声掛けをして

研修副委員長 日根野 絹子

能登会長から今年の富士研参加人数目標50人といったき、村田研修委員長に「富士研への参加でより倫理の良さを実感したお話」を各単会モーニングセミナーで講話いただき、私も富士研に参加して家庭や会社が良くなった事をみな様にお伝えしてお話ししました。今年度の参加者は41人という結果になりましたが、富士研に参加された人全員から「良かった」と声をそろえて言っていたことが、研修副委員長のお役になれたのではとうれしくなりました。会員の中でも行きたくても行けない人もあります。それでも、もし行ける時がきたらぜひ富士研セミナーと一緒に参加して共に感動を味わいたいと思います。



びわこ近江富士倫理法人会

東洋産業株式会社 鈴木 健

参加日／平成27年1月29日～1月31日

経営者倫理セミナー（以下：富士研）に参加する前に私が抱いていたイメージは「1. 進行 2. 砂利の上で清坐 3. トイレ掃除 4. 感動」でした。

だから、「富士研へ参加しよう！」と言われても、私には無関係で研修に参加するつもりは毛頭ありませんでした。そんな私が参加を決意したのは、村田研修委員長の講話を拝聴して富士研に参加すれば父との関係を改善出来るかと確信したからです。

最初のオリエンテーションで第1班のリーダーになりもう一つのテーマとして「組織を率いるリーダーとしての成長」を決め、研修が始まりました。30歳から50歳代の経営者まで住む場所も業種も経歴もまったく異なる7人が初対面で最初チームはバラバラでした。リーダーの私が、一人でバタバタと動き回って焦って空回り。この問題は、びわ100の実行委員会でも北野実行委員長から数々指摘されていたことで、現在勤務する京都の工場でも直面している問題でもありました。サブリダーの「何でも言ってね！協力するよ」という言葉に、一人で背負い込む必要はないことに気づきました。それから、班のメンバーに役割を分担し、意見を出し合い次第に心が一つになり「あいさつテスト」をトップで合格することが出来ました。テストに合格した時のあいさつは、ゴルフに例えるなら「ドライバーの真芯でボールを捉えて、300ヤードを超えるロングドライブしたときのような爽快感」で、この合格を境にチームの雰囲気は飛躍的に良くなりチーム意識が強固なものになりました。

48時間の研修の中で最も印象に残ったのは「自照清坐」です。雨の中、雪の山道を標足で15分歩き象徴庭園で菩提樹を見つめながら雪の上で15分の正座、日常では絶対あり得ない体験でした。歩くとき決めたものの、少し歩くと雪と水溜まりで足はすぐに冷たくなり痛みが走ります。痛みを感じないようにマイナスの方向に考えないようにとあれこれ考えるうち、父のことを思い出しました。若くして創業した父は、何度も倒産の危機に直面し、そのたびに「負けてたまるか！絶対に生き残るぞ！」と歯を食いしばって人一倍努力することで乗り越えてきたと、いつも口にしておりました。そのうちに「私の今感じている痛みは、父が遭遇した苦難の一端を追体験しているのだ」と思うようになり父から聞いた数々のエピソードを思い出し次第に痛みが気にならなくなりました。そして象徴庭園で菩提樹を見つめて清坐する時に「この痛みは、母が出産の際に味わう痛みの1万分の1」と鈴江先生の声が聞こえました。いままでほとんど意識したことのない母への感謝の思いが溢れ、亡き祖母を思い出し、これまでの行いを反省しました。そして、清坐の終わりに象徴庭園で見上げた空は「長いトンネルを抜けた時に周囲の景色がパッと明るくなるような感覚」でかつてない美しい雨空でした。この瞬間、私が富士研に参加した目的は達成されました。私には父母、先祖を敬う気持ちが欠如し、それが表情や態度、行動に表れていたのです。このことに対する実践は「謝罪」と明確ですので覚悟を決めて明日、実践します。それが私の話を聞いてくれたチームのメンバーとの約束でもあります。

富士研では能登会長をはじめ、たくさんの方々からの応援ファックスを頂き本当にありがとうございました。皆さんからの応援ファックスに元気を頂きました。本当に嬉しかったです。皆さんから頂いた応援へのお返しは必ずさせて頂きます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



びわこ近江富士倫理法人会

オフィス笑幸 柴原 徹

参加日／平成27年2月8日～2月10日

今回初めての参加でしたが、滋賀県からの参加者も多かったので、安心して3日間を過ごすことができました。行きの中は、同じ単会の5名が同乗し、冗談交じりの会話をしてお互いの理解を深め、明るい雰囲気のまま富士高原研修所に到着しました。早速元気の良いお出迎えを受け、所定の手続きを済ませ、同室のメンバーにも挨拶し、いよいよ富士研がスタート。

鈴江調師からご説明があった7ACTでは、経営者モーニングセミナーだけでは気づけない「あたりまえ」のことを学びました。しかし、それがなかなかにして難しいことも理解できました。7ACTを自然にこなせば、積極性、順応力、即応力、判断力、予知力、集中力、直感力、先見性、持続力、提案力、感謝力が自然に身についてくる。こんな素晴らしい実践が「あたりまえ」に出来ることが、これからの私の実践目標となりました。

富士研に参加するまでは、経営者モーニングセミナーの講話を拝聴し、その内容を参考に、私が良い事と思ったことを、真似をしてきました。例

えば、モーニングセミナーに遅刻せずに参加する、靴を揃える、仏壇に手を合わせる、両親に感謝のメールを送信する、日めくりカレンダーをめくる、「はい」を大きな声で言う、物にも感謝する、などなど。その実践だけでも、確かに怠惰であった私の行動が、良い方向に修正されて、明朗でいる時間が徐々に長くなり、結果、「産んでくれてありがとう」のはがきの力も借りて、今まで深い心のわだかまりによって、遠ざけていた両親との仲も良くなり、家庭の愛和に繋がりました。そして、仕事も、喜んで取り組める仕事に気づく事ができました。

しかし、富士研では、経営者モーニングセミナーだけでは気づくことのできない更に深い倫理の学びを、実践を通して得ることができました。まず富士研では6～8名のチームでの行動をしますので、自分勝手な行動はできません。自分がやむを得ず別行動をする場合も、メンバー全員に正確に別行動をすることを連絡しなければなりません。また、あいさつトレーニングでは、全員が寸分狂わず同時にあいさつしなければなりませんので、より心を併せた行動をしなければなりません。心を閉ざしていたのでは全く上手いきません。自らが心を開き、真心を持って、「なれあいではない優しさ、責め心のない厳しさ」を合言葉に真のチームワーク形成を目指します。普段一人行動している私にとって、自分勝手な行動が多いことに気づきました。そして、馴れ合いの優しさで行動していたことにも気づきました。

着いた初日のオリエンテーションで、自分自身の未熟さに気づき、呆れ返ってしまいました。その反面、成長するための課題があることと、その課題を解決すれば、更に人として成長できる喜びが湧いてきました。オリエンテーションが終わり、夕食となり、教わった作法通りに食事を進めようとしたのですが、これもぎこちなくなり、命を頂くことへの有り難みがない自分に気づきました。そして、「愛和のみそぎ」の練習では、家での練習の成果もあり、特に苦しむことはなかったのですが、周囲から「躊躇なくこなせてすごいですね」などと言われてしまい、つい有頂天になってしまった心の弱い愚かな自分に気づきました。私がすごいのではなく、この試験に耐えられる体を与えてくれた両親、ご先祖様に感謝すべきでした。

2日目は、「自照清坐」「心の宝」「いのちの源泉」と亡くなった身近な方々との対話や、自分が感謝すべき方々を思い出したり、感謝の手紙を書いたり、正直私にとって、辛い時間でした。幼少期に親から受けた「自殺」まで考えた厳しい戦や、学校でのいじめ、病気のとの戦い、笑えなくなった事など、思い出したくない事にも触れなければならず、フラッシュバックされて、心が怒りで乱されそうになりましたが、そうなった原因も全て自分自身の中にあると言い聞かせ、怒りの感情にも感謝することで、最終的に穏やかな気持ちになれました。最終日は、「愛和のみそぎ」にチャレンジさせて頂き、常時心穏やかに、太陽から大いなるエネルギーを頂戴し、自然に明朗でいることができるようになりました。感謝力が向上したように感じました。

富士研の3日間で気づいた、実践目標が山のように山積して、こなしていきたいませんが、毎日が初日と思って、成長の階段を一步一步着実に登っています。

富士研での経験は、私にとって貴重なものとなりました。参加して心から良かったと思っております。次回は冬場に参加させていただこうと思っています。ありがとうございました。

第1回感動経営セミナー

平成27年1月16日
ホテルサンルート彦根

テーマ／倫理経営のバイブル「万人幸福の葉」を経営に活かす

講師／又川俊三氏(岩手県倫理法人会相談役、倫理経営上級インストラクター、クラブグループ会長)

▲115名を超える参加者が
又川さんの話に聞き入った。



震災1週間後に山を超えてやっと入れた大槌町の避難所で小学6年生の女の子が貼って歩いていたポスター。又川さんはそのポスターに釘付けになり「ああ、東北は大丈夫だ。日本は大丈夫だ。」と思ったという。自分はいくら悲しくても、辛くても周りを思いやる。これが日本人でしょ。こんな子どもたちのためにも、私達の日本をもっともっといいものにしてバトンタッチしていかないと。このポスターは私を大きく変えましたと又川さんは語る。



万人幸福の葉の中にビジネスも人生も成功するヒントがある。葉はモーニングセミナーのためのパイプではなく普段から使うためにある。企業の経営には経営計画書も必要。右手に万人幸福の葉、左手に経営計画書。いくら立派な経営計画書でも万人幸福の葉から外れているものはうまくいかない。大自然の法則に外れるから。



研修委員長 村田 正利

1月16日(金)ホテルサンルート彦根にて「第1回感動経営セミナー」を上田実行委員長のもと研修委員会主催で開催させていただきました。

講師に又川俊三インストラクターをお招きして3時間にわたる講演をしていただきました。このセミナーに総勢115名を超える方々にご参加いただき誠にありがとうございました。

開催にあたりご協力いただきました県役員の皆様、各単会の会長および専任幹事、研修委員の皆様にご心から感謝申し上げます。また、又川俊三インストラクターにおかれましては、はるばる岩手県よりお越しいただきましたこと心より感謝申し上げます。

第一部では東日本大震災当時のお話から現在の東北の状況など感動的な動画やお話を聴かせていただき思わず涙する場面もありました。また、日本人の持つ他人を思いやる優しさを通して改めて日本人の素晴らしさを実感することができました。

さらに第2部では「万人幸福の葉」を経営に活かすというテーマで十七か条をわかりやすく解説していただきました。「こんなふうに十七か条を経営に活かすんですね」とか「はじめてわかりやすく解説していただき心にスッと落ちました」などたくさん感想をいただきました。会場内もとても熱気にあふれ、皆様真剣にお話に耳を傾けていらっしゃいました。ご参加の皆様「もっと話が聴きたい」というご要望にお応えして

待望の「第2回感動経営セミナー」が5月18日(月)クサツエストピアホテルにて開催されることが決定致しました。さらに深いお話をいただけるものと期待しております。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしております。

また、今回のセミナーに参加していただいた未会員の方の中にはセミナー参加後に入会を決めていただいた方もいらっしゃいます。ぜひ、第2回目のセミナーには現会員のご参加はもとより未会員の方々にも多数ご参加いただき、さらに倫理の輪が広がることを願っております。ぜひ、次回も皆様のご協力をよろしくお願い致します。

びわこ湖北倫理法人会 平川 聖子

講師又川様へ

2日間に亘り貴重な講演、本当にありがとうございました！感動と感謝の講演で、涙腺が緩みっぱなしでした。

又川様の講演で、「経営は親孝行」という言葉、まさにそうだと感じました。又、同時に、まだまだ両親に親孝行できていないことに反省させられました。今までいただいたご縁、御恩を思うとお話の途中泣き、まだまだ報えていないことにまた泣けました。

私が、万人幸福の葉を素直に素晴らしと感じ、学ぶことができるのは、両親が、その土壌を私に作ってくれたからだと感じています。仕事も、両親の背中を見て、真摯に人と向きあう姿に憧れ、自然とこの仕事に就かせていただきました。そんな両親に、もっともっと恩返しができる自分になりたいと思います。次回、又川様にお会いするときには、少し親孝行できるようになりましたとお話できるようにします。

父と一緒に又川様のお話を聞いたこと、本当に幸運だったと感じています。帰りに、近くの八幡神社に二人でお参りし、今回のご縁を感謝しました。ありがとうございました。今後とも、よろしくお願いいたします。

倫理経営講演会

平成27年1月21日 びわこ近江富士倫理法人会
ライズヴィル都賀山

第一部はかがり司法書士・行政書士事務所による「朝礼発表」。活力朝礼を参考に自社で工夫を凝らした素朴な朝礼を3年前に導入。朝礼によりコミュニケーションが深まり雰囲気良くなったと代表の太田智真さんは朝礼の効用を語りました。

第二部は「ここに活路あり一大転換期をいかに乗り切るか」のテーマで、倫理研究所関東・甲信越方面長荒木良仁様にご講演いただきました。荒木方面長は父親の経営する料理店で働いていた時に心の病という苦難に見舞われ仕事をやめ家に引きこもる生活を経験。その時に純粋倫理に出会い、活路を見出すにはこれしかない、必死に「万人幸福の葉」を読み、母親の愛情に触れる中で徐々に立ち直ることができ、倫理という仕事で社会に役立ちたいと1995年に倫理研究所に入所。2000年からは10年近く富士研でみそぎ研修などを担当されます。みそぎ研修を通じ、苦しい時に活路を見出せる人、押しつぶされてしまう人に、あるパターンがあることに気づいたといいます。(1)何かのせいにする人(2)逃げる人(3)耐える・頑張る・我慢する人、これらのタイプの人は崩れてしまう。一方、ずっと苦難を受け入れられる人は強い。にっちもさっちもない時に活路を見出せるかどうかは、苦難を必要があって起きたことだと、さっと受け入れるかどうかにかかっている。本当に受けきると不思議とそこからいいアイデアが出たり、相手の態度がガラッと変わったりする。ポイントは普段の感謝力。些細な事でありがたいと頭を下げる人、そういう実感を多く持っている人はいざというときに苦境を受け入れて活路を見いだせる人が多い。

また「式年遷宮と歴史」についてお話いただきました。伊勢神宮のご神様が東にある時を米の坐(こめのくら)、西にある時を金の坐(かねのくら)の時代といい、それぞれに吉と凶があり20年毎に入れ替わる。米の坐の時代は比較的落ち着き、金の坐の時代は荒れる。特に金の坐の凶の時代は世の中がガラッと変わるような大きな変化が起こる。過去、第54回の式年遷宮の1849年からの時代には明治維新が、その次の第58回の1929年からの時代には第2次世界大戦、敗戦という歴史があった。そして、第62回2013年から「金の坐の凶」の時代に突入。この20年でもまた大きな世の中の変化が起こる可能性がある時代。大転換期である。そんな中、時代の変化を乗り越えて日本には1000年以上続く企業がある。200年以上続いている企業は3000社位あると言われており老舗が多い。長く続いている企業には共通点がある。世代を超えた「恩意識」をずっと持ち続けている。どうして先代、先々代と過去の恩が忘れられずに伝わっているのか調べてみると、老舗企業は三世代同居の会社が多い。同居していると教えなくても肌で感じる。それが伝わる。日本は核家族化がどんどん進んでいるが、大家族だからこそ、伝えていくものがあるのではないかと。そして、家族と一緒に食事をとることの大切さ。同じ釜の飯を食った仲間という言葉に象徴される、血のつながりよりも重視する仲間意識による婿養子による家の継承。そんな文化と「本(もと)」、仕事の本筋は変えないが時代に合わせて変化していくしなやかさを併せ持つ企業が長く続く。大きな転換期があっても変わらずにやっていく最大の実践は家族と一緒に食事をとること。活路というのは実は足元にある。大転換期には時代にあわせていくことも必要だが、大事なことは変わらないという意識、そして、家族の絆、そこをしっかりと押さえていかないと時代の大きな波にのまれてしまったりするのではないかと。ぜひ「恩意識」を高めるということ、家族との食事を深めるということを大切にしていきたいと話されました。ゲスト8名を含む56名の参加でした。大変わかりやすい話で勉強になる講演をありがとうございました。(広報副委員長 松崎和弘)



倫理経営講演会

平成27年2月12日 大津倫理法人会
びわこ大津館

「苦難から気づけたこと」と題し、石川県倫理法人会幹事長、法人レクチャー連友也様の事業体験報告を拝聴しました。

連様は、創業者の父親より事業を継承し、当初は順調でしたがバブル崩壊と共に、従業員さんの退職、売上減少、難しい資金繰り等、苦難の連続でした。そんな中、家計図を作ることで「苦難から逃げなかった祖先」の存在を知り、倫理指導で「家族に守られている事、自らの心を開く事」を体験から気づかれました。

もうお一人の講演者は、一般社団法人倫理研究所法人局、法人スーパーバイザー山中敦子様。「ここに活路あり」のテーマでご講演いただきました。名古屋でスーパーを経営。無借金経営をしてきたが、転換期に9億の投資で思い描いていた新店舗での事業拡大・成長。その実績により、単会開設の普及活動、経営を通して困難な物事をプラスとする考え方、倫理的な発想の講話を拝聴しました。

現在は、3代目となるご子息を後継者としたが、思うようにいかない→出社拒否も考えたが、「責め心は他人ではなく、自分に」と相手を受け止めると、相手もちゃんと返してくれる。倫理にはそんな素晴らしい法則がたくさんあると教えていただきました。

私も事業継承の真っ只中で、創業者である両親から学んでいる最中です。困難と思える試練も日々発生しますが、倫理理念を持って体験されている両名様の報告は、私にとって、良いタイミングで、素晴らしい結果を実話として拝聴しました。特に「否定的な発言には、否定的な返答」、「思いやる言葉には、愛和の返答」の言葉は、わかっていても、つい勢いに乗じた返事をしてしまいます。早速、意識して会話しますと物事が思うように進むように感じます。実行により直ちに正しさを体感できる素晴らしい体験談を聞かせていただきました。ありがとうございました。ゲスト21名を含む86名の参加でした。(青年副委員長 浅野裕史)



びわこ湖南倫理法人会

平成27年2月23・24日 会場/クサツエストピアホテル

名古屋市市中川区倫理法人会村上実法人レクチャーをお迎えし、経営者の集い、MSとご講話いただきました。村上先生は保険相談センターグループを創設し、「すべての人が情報や知識を持って幸福に生活できるサポートをしたい」という強い理念をもち、全国のお客様の生活サポートを実践しておられます。

これまで百貨店・割烹料理・保険会社と経験を重ねられた村上先生。いずれも全て“お客様サービス”業種であり、お客様の立場に立って力になりたいと、喜んでいただける事を追及されておられます。

そんな村上先生も倫理法人会に出会い、「ありがとう」という言葉をご自身で多く発せられるようになり、感謝の気持ちを持たれるようになったと仰っておりました。

すべてのものを感謝とポジティブにとらえる。ハイ喜んで!と取り組まれることにより、チャンスがやってくる。

村上先生が「かちぐせをつける」とお話されました。かちぐせの“かち”は勝ちではなく、“価値”。お客様に多くの“価値”を提供する姿勢を徹底されている村上実法人レクチャーの講和に参加者一同大変学ばせていただきました。ありがとうございます。(びわこ湖南倫理法人会 堀内祐希)



平成26年11月1日に移転オープンした新社屋。

2階のセミナールームで行われている
びわこ近江富士倫理法人会のモーニングセミナー

志塾、経営計画書作成セミナーなど自己研鑽と情報収集の場をご提供しています。

倫理法人会には2012年11月に入会。2015年1月からは、新社屋2階のセミナールームをびわこ近江富士倫理法人会のモーニングセミナー会場としてもご利用いただいております。セミナールームは最大100名収容。半分の使用も可能です。様々なセミナーや催しにもご利用いただけますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

会員企業紹介(びわこ近江富士倫理法人会)

税理士法人 中央総研

〒520-2341 滋賀県野洲市行畑669番1 TEL 077-586-0305

税理士法人中央総研の歴史は昭和60年2月、山川会計事務所設立に始まります。今では滋賀県下を中心に取引先は飲食店から工務店、美容系、不動産、農家の方まで、規模の大小を問わず600社以上、従業員27名の規模にまで成長してまいりました。昨年11月1日には新事務所を野洲市行畑に新規移転オープン、さらなる飛躍を図ります。中央総研は税理士法人として、目の前の計算をするだけでなく、お取引様が「黒字体質」になることを目標としています。「黒字体質」実現のためには、現在を数字で把握する能力に加え、人の改革が必要です。店舗や会社、組織にも性格があります。それを決めるのはそこで働く人、その先頭を走るのが経営者です。「社長が変われば会社が変わる」。会計業務だけでは終わらない、人を活かすことも私たちの仕事です。そのため、先哲に学ぶ人間学講座、立



税理士法人中央総研 代表社員 山川 晋

びわこ湖北倫理法人会

平成27年1月21日 会場/株式会社 草川製作所様

去る平成27年1月21日水曜日に、びわこ湖北倫理法人会の企画で第2回朝礼見学会を行いました。この企画は、普段は中々自社以外の企業の朝礼を見る機会が無い中、朝礼未導入企業の導入の機会創りや既に朝礼を導入されている企業も朝礼の見直しやブラッシュアップの機会にして頂く為に企画しております。今回は、びわこ湖北の会員企業で、朝礼を導入して8年目となられる(株)草川製作所様へ見学にお邪魔しました。朝礼前には、5Sが行き届いた社内を見学させて頂き、改めて整理整頓・後片付けの大切さを感じました。

草川製作所様の朝礼は、倫理法人会の活力朝礼の基本の形を元に行われています。

女性のパートさんが中心となり、挨拶や返事、職場の教養の輪読や感想の発表に懸命に取り組んでおられました。草川社長は、「活力朝礼の導入により、会社が変わり、ミスやクレームが激減した。」と朝礼導入に効果を話されています。参加された方々は、それぞれの会社において、朝礼の改善のヒントを持って帰って頂いたと思います。(びわこ湖北倫理法人会 会長山岡朗)



資源循環システムについての視察・見学をされています。

滋賀県内のさまざまな企業・自治体・個人の方々の
バイオディーゼル燃料の利活用が広がっています。

用していただいています。

倫理法人会に入会して4年。ようやく倫理経営の一端が理解できるようになりました。中でも「朝起き」の実践をすることで飛躍的に仕事の効率が上がっております。

ガソリンスタンドを「ガソリンを売らないガソリンスタンド」へ。様々なエネルギーを取り扱えるエネルギーステーションへパラダイムシフトしていきたいと思ひます。

会員企業紹介(彦根市倫理法人会)

油藤商事株式会社

〒529-1173 滋賀県犬上郡豊郷町高野瀬645 TEL 0749-35-2081

油藤商事株式会社は、明治30年にカンテラ油の行商からはじまり、豊郷、彦根、大津の3ヶ所で、ガソリンスタンドの経営をしています。

現在では、ガソリンの販売のみに留まらず、2002年に全国に先駆けてバイオディーゼルを一般販売。2005年にはバイオディーゼル精製プラントの建設が完成。

ガソリンスタンドをその枠を超えた地域循環型社会の新しいキーステーションとして、「ガソリンスタンドはまちのエコロジーステーション」をテーマに、新たな取り組みに挑戦しています。なかでも各家庭から回収した廃食油を利用したバイオディーゼル燃料の精製・販売を行っています。販売したバイオディーゼル燃料は滋賀県内のさまざまな企業・自治体・個人の方々に利

油藤商事株式会社 専務取締役
彦根市倫理法人会 会長 青山 裕史